

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: R6年 10月 31日

事業所名: 愛YOUわくわく広場 はなみずき

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

Table with 7 main columns: 区分, チェック項目, 事業所の現状評価 (sub-columns: 高い, どちらか高い, 低い, 工夫した点・改善点), 保護者の方の評価 (sub-columns: 高い, どちらか高い, 低い, 保護者の方のご意見), 評価を踏まえた改善内容・改善目標. Rows are categorized by 環境・体制整備, 業務改善, 適切な支援の提供, 適切な支援の提供(続き), and 関係機関との連携.

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらか はい	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらか はい	いいえ	おかしな 点		保護者の方のご意見
機関との連携（続き）	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	○			情報提供が必要な場合は情報の提供を行っている。						
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進			○	上手く活用できていない。会社要請以外の研修でも活かせる研修に関しては研修費を出してほしい。						発達障害者支援センター等とも連携を取っていきけるような体制を整えていきたい。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等サービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供			○	児童館や公園等には行くが一緒に交流はできていない。	8	3	3	7	立花や山越と交流があってもいいなと思います。利用曜日を固定して、利用日にはそのような交流は聞いていない。	リスク管理には十分に気をつけなければならぬが、今後当事業所以外のお子さんとも関われる機会も検討していく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営			○	現在はそういった活動までは行っていない。						
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	○			契約時に利用者負担等については説明しており、各ご家庭でわからないことが出た際は、その都度詳しく説明をするようにしている。	20	1				
	2 児童発達支援計画又は放課後等サービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	○			児発管が個別支援計画書を元に丁寧に説明を行っている。	21				他のデイのように個別面談があっても良いかなと思う。	今までは送迎時に計画書の説明を行っていたが、今後はご希望のご家庭は事業所で個別面談をしながら計画書の説明をさせていただくようにする。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	○			送迎時に助言をしたり、療育だよりを作成し、配布はしているがまだ不十分。	12	1	2	6	療育だより、食育だよりの発行されている。	職員が先ずは学ぶ機会を増やし、親御さんたちが活かせる情報提供の方法を今後検討していきたい。
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	○			子どもの小さな育ちを伝えられるように努めている。親御さんから教えていただいたことは職員間で共有するようにしている。	21					
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	○			送迎時やスマホでのやりとりの中で質問があった際は対応できるようにしている。	17	2	2			親御さんからの聞き取りが不十分な点もあると思うので、こちら側からの聞く姿勢をきちんとしていきたい。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援			○	現在はそういった支援までは行っていない。	6	2	5	8		親御さんたちの要望をお聞きしながら検討していきたい。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	○			何かあった際は直ぐに全員で話し合い、情報共有をしている。直ぐに対応するように意識している。	14	1		6		
	8 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	○			言葉や文章だけでなく、日々の活動の様子を写真で見せていただいている。子どもに対しては絵カードを用いたり、表示をして分かりやすいようにするなど配慮している。	19	1		1		
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	○			毎月、おたよりや行事予定表、利用希望表などを用いて、子どもたちの様子を知ってもらったり、やり取りができるようにしている。	21					
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	○			個人情報の取扱いには十分気を付けている。職員間でも声かけをしながら気を付けるようにしている。	18			3		
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	○			マニュアルはあるが、周知は不十分である。各種マニュアルの場所や内容の把握が出来ていない。	17	1		3		マニュアルの内容確認・整理を改めて行い、周知徹底をしていく。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的避難、救出その他必要な訓練の実施	○			年2回は避難訓練を実施しているが、子どもたちの障がい特性を考慮して、もっと様々な訓練を行っていきたい。	18		1	2		特性等を考慮して苦手な行動だけでも日々の中で少しずつ練習をして、いざという時にきちんと避難ができるように訓練の回数なども検討していきたい。
非常時等の対応（続き）	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	○			月1回の全体研修の際に虐待についてみんなで考える機会がある。						
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等サービス計画への記載	○			身体拘束が必要な場合は保護者の了承を得て、日々の記録、毎月の再検討会議等を行っている。日々の積み重ねで現在は対象児なし。						
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	○			現在は医師の指示がある児童はいない。しかし、検査をしておらず不安というご家庭には別のものに対応する等の配慮をしている。						
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	○			何かあった際はヒヤリハットや事故報告書を記入し、全員で周知している。また、他店舗からヘルプに来てもらうこともあるため、他店舗にも作成したものを共有するようにしている。						